



# 南イリノイ大学に オンライン留学して

岡久 凜香 (おかひさりんか)

医学部 医学科 2年 留学先:南イリノイ大学(アメリカ合衆国)

## オンライン留学のきっかけ

大学1年生の春休みを利用して約1ヶ月間、南イリノイ大学にオンライン留学しました。私は高校生の頃から留学してみたいと考えていたものの今まで機会に恵まれていなかったため、今回のオンライン留学が新型コロナウイルス感染症収束後の留学の準備になれば

良いなと思いい、参加を決めました。このようにきっかけはささやかでしたが、実際に授業が始まると毎日が始めてと驚きの連続でとても濃い日々となりました。

## 印象に残ったこと

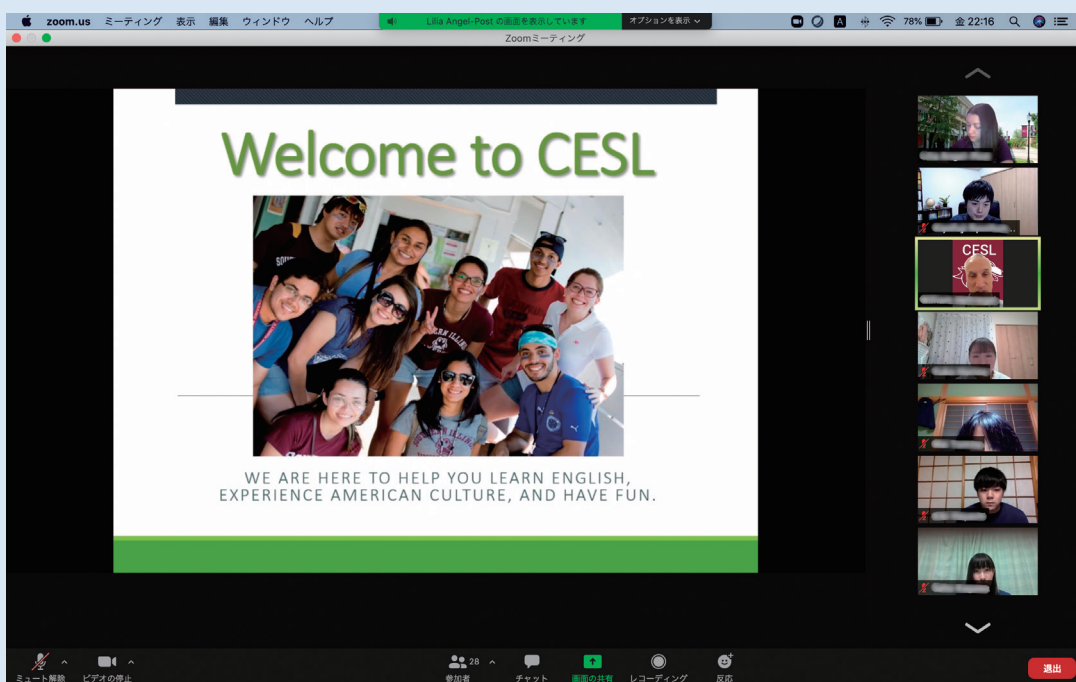
オンライン留学の授業では先生の話聞くだけの時間はほとんどなく、2つの大きなプレゼンテーションやディベート・ディスカッションをはじめとした、自分の意見などを発信する機会がとても多くありました。私のクラスにはコロンビア・メキシコ・日本の大学の学生が15人ほど集まっています。ですが、みんな積極的に発言していて、少し内向的な性格の私ははじめ躊躇してあまり発言することができませんでした。しかし、授業を重ね、少人数のブレイクアウトルームでのディスカッションなどの経験もたくさん積むにつれて、次第に自分の意見を伝えることにも慣れ、楽しんで授業を受けられるようになりました。

最も私の印象に残ったのは、第3週に行ったディベートの授業です。この授業では、大麻の合法化の是非について、賛成側・反対側のグループにランダムに分かれ議論をしました。日本の外に出たこ

とのない私は大麻なんて合法化しないほうが…と直感的に思いましたが、合法化賛成のグループに振り分けられ、様々なバックグラウンドを持った仲間と調べ議論していくうちに、深く考えさせられるようになりました。それぞれの育ってきた環境やこれまでの経験などは様々であり、それによりとても幅広い多くの視点があることを実感し、自分の狭い視野が少し広がったように感じました。そしてもちろん、それまでの2週間の成果もあり、英語で議論することを楽しむことができました。

## これから

今回のオンライン留学を通して、多くの新たな気づきを得て、自分の視野を広げることができたことが一番良かったと感じています。コロナ禍で実際に現地に行くことはできないにもかかわらず、このようなかけがえない経験ができ、とてもありがたかったです。これからは広い視野を意識して生活し、また英語の学習を続けて英語力を伸ばすとともに、新型コロナウイルス感染症の収束後は留学などに積極的に参加し、自分の世界を更に広げ深めていきたいです。



オンライン留学の様子

CESL:Center for English as a Second Language